


◆◆◆「伊豆の国市立大仁中学校生徒の安心安全」のための危機対応マニュアル ◆◆◆

令和2年度
学校・家庭 相互確認版

台風・暴風等の時

<登校前>
6:00の時点で、「伊豆北」に「暴風警報」が発令(177天気予報)されている場合
→ 6:30までに携帯メール配信システム(マ・メール)にて「登校」か「休校」を伝えます。
(※)その他、登校が危険と判断される状況の時も「休校」の連絡をします。
(※)「登校」との連絡があっても、居住地区の状況により保護者が危険と判断した場合は登校を見合わせ、その旨を学校に連絡してください。

<登校後(在校中)>
・原則として学校にとどめます。
・16:00を過ぎても下校できないと判断される場合 → 学校より「引き渡し」(迎えの依頼)をマ・メールで配信します。



		南海トラフ地震に関する情報(定例)	南海トラフ地震に関する情報(臨時)	
			(大規模地震の発生)	(大規模地震の発生後)
登校時	↑ 平常活動 ※地震情報に注意 ↓	・安全を確認し登校する。 ※保護者が危険と判断した場合は登校を見合わせ、その旨を学校に連絡する。	・倒壊しそうな場所から離れて身を守る。 ・頭を鞆などで守る。 ・注意しながら、避難所が学校のどちらか 近い場所へ避難する	
在校時		※状況に応じて避難準備開始 ・地震発生時、机の下などに隠れて身を守る。 ← 安全確保 →	・揺れが収まるまで、机の下などに隠れて身を守る。 引き渡し開始 …… 震度5強以上の地震が発生した場合 保護者が引き取りに来てください。来られない時は代理人にお願いを(引き渡しカードで確認)	・危険物の把握。・常時頭を守って行動。 ・状況により避難所へ移動し安全確保。
在宅時			※引き渡し完了までは、 子どもは学校にとどめます。 ・登校を見合わせる。 ・自宅待機するか避難所に移動する。 ・安全な場所に避難する。 ・子どもは、家族や自主防災本部の指示に従う。	
(※) 自宅を離れ避難する時のために、避難場所を玄関に貼るなど安否確認がとれる準備をしておきましょう。(日頃の備え) (※) 大規模地震の翌日以降は、学校からの連絡があるまで自宅待機をさせて下さい。				

学校(校外活動)でケガをした時・病気になった時

◎ 学校でケガをした時、病気になった時
連絡…保護者と連絡を取り医療機関を決める
学校 ← 保護者 → 医療機関
学校 → 病院
① 保護者に学校に向いていただき、子どもを医療機関へ連れて行ってもらいます。
② 学校で医療機関に連れていきます。(救急車を要請する場合もあります)

<急を要さない時>
① 保護者に学校に向いていただき、子どもを医療機関へ連れて行ってもらいます。
<急を要する時>
② 学校で医療機関に連れていきます。(救急車を要請する場合もあります)

(※) 保護者は保険証・子ども医療費受給者証をもって病院に行ってください。受診結果を学校に報告願います。

◎ 校外学習中にケガをした時、病気になった時
担任等(引率者) → 学校
けがの状態・病気の程度や状況、緊急の対応の仕方について確認する。それ以後の対応は、学校での場合と同じです。

(※) 現地在遠距離で、駆けつけるのが難しい場合は学校と家庭で連絡を取り合い対応します。

◎ 頭部外傷時の対応について
「脳しんどう」と診断された生徒が、体育活動等を再開する場合は「体育活動等参加証明書」にて、脳神経外科による許可が必要です。

インフルエンザ感染症の疑いがある時

◎ 発症の疑いがある場合
学校 ← 保護者 → 病院
① 確認
② 受診
③ 診断結果の報告 → 感染症でない場合は元気になったら登校
④ 「インフルエンザ罹患証明書」を医療機関で受領し、学校に受診結果を連絡
⑤ 保護者が、発症日から「インフルエンザ経過報告書」を記入 ※検温結果を記入
保護者の署名をして、「インフルエンザ罹患証明書」と「インフルエンザ経過報告書」を持参して登校
職員室または保健室に提出して教室へ行く。
(※) 1回の服用で強い効果のある薬の登場で、ウィルスが体内に残ったままでも熱が引くことがあります。感染拡大を阻止する意味でも、確実に治癒するまでご配慮願います。

<流れ>
① 保護者・学校で事実(症状)の確認
② 病院にて受診(医師の診断)
③ 診断結果の報告 → 感染症でない場合は元気になったら登校
(インフルエンザ感染症に罹患した場合)
④ 「インフルエンザ罹患証明書」を医療機関で受領し、学校に受診結果を連絡
→ 発症後5日、かつ発熱後2日を経過するまで自宅安静
⑤ 保護者が、発症日から「インフルエンザ経過報告書」を記入 ※検温結果を記入
保護者の署名をして、「インフルエンザ罹患証明書」と「インフルエンザ経過報告書」を持参して登校
職員室または保健室に提出して教室へ行く。
(※) 1回の服用で強い効果のある薬の登場で、ウィルスが体内に残ったままでも熱が引くことがあります。感染拡大を阻止する意味でも、確実に治癒するまでご配慮願います。

不審者・凶悪事件等が報告された時

学校へ侵入
全職員で安全確保する。
→ 警察、保護者に連絡
引き渡し
→ 子どもに動揺がある時や下校が危険な時にお願いします。

登下校時に出没
・駆け込み110番の家などに避難する。
・まず、**警察 0558-76-0110**に連絡(時間、場所、状況等不審者の特徴を)
・その後、学校へ連絡。
・学校から保護者、市教委へ連絡。
→ 登校は、動揺がおさまってから。

近隣で不審者情報等
・状況に応じて、集団下校・引き渡し等の判断をし、マメールにて伝達します。
・校区内での凶悪事件発生など、登下校に危険がある場合も同様です。
(※) 地域住民や保護者に協力をお願いします。

その他感染症の疑いがある場合
<流れ>
① 保護者・学校で事実(症状)の確認
② 病院にて受診(医師の診断)
③ 診断結果の報告 → 感染症でない場合は元気になったら登校
(その他の感染症に罹患した場合)
④ 出席停止用紙(「出席停止通知」並びに「予防すべき感染症に関する証明書」)を学校まで取りに来てください。
⑤ 再受診(必要事項の記入要請) 療養…医師の指示とおり
⑥ 医師による「感染症治癒」の診断
⑦ 「予防すべき感染症に関する証明書」を持参して登校

登下校中の交通事故発生時

① 連絡を受け次第、現場に急行
・救急車等の要請・応急処置
・警察への連絡
・怪我人に同行して病院へ
・学校 ↔ 家庭間の連絡確認

② 学校による現場確認
・現場確認
(状態、時刻、場所、状況など)
→ 再発防止策の検討をします。

Jアラートが発令された時
在校時
【屋外にいる場合】
・速やかに屋内に避難し、頭を守る。
【屋内にいる場合】
・できるだけ窓から離れ身を低くし頭を守る。
→ 緊急放送等の指示をしっかりと聞く。
登下校時
・近くの建物に入る。なければ、物陰に身を隠し、地面に伏せて頭を守る。
・けががある場合は、近くの人に助けを呼ぶ。
・家庭が学校のどちらか近い方に避難する。
・安全が確認されたら登下校を再開する。
在宅時
・自宅待機する。
・保護者が安全と判断できたら登校する。

大中生の安全をみんなで守りましょう!

高温注意情報が発表された時

・WBGT(暑さ指数)が31℃以上の時は、「**原則運動禁止**」とする。
・校外活動や行事等については、諸条件(児童生徒の体調や活動の内容、環境等)を勘案して中止や内容の変更を判断する。